

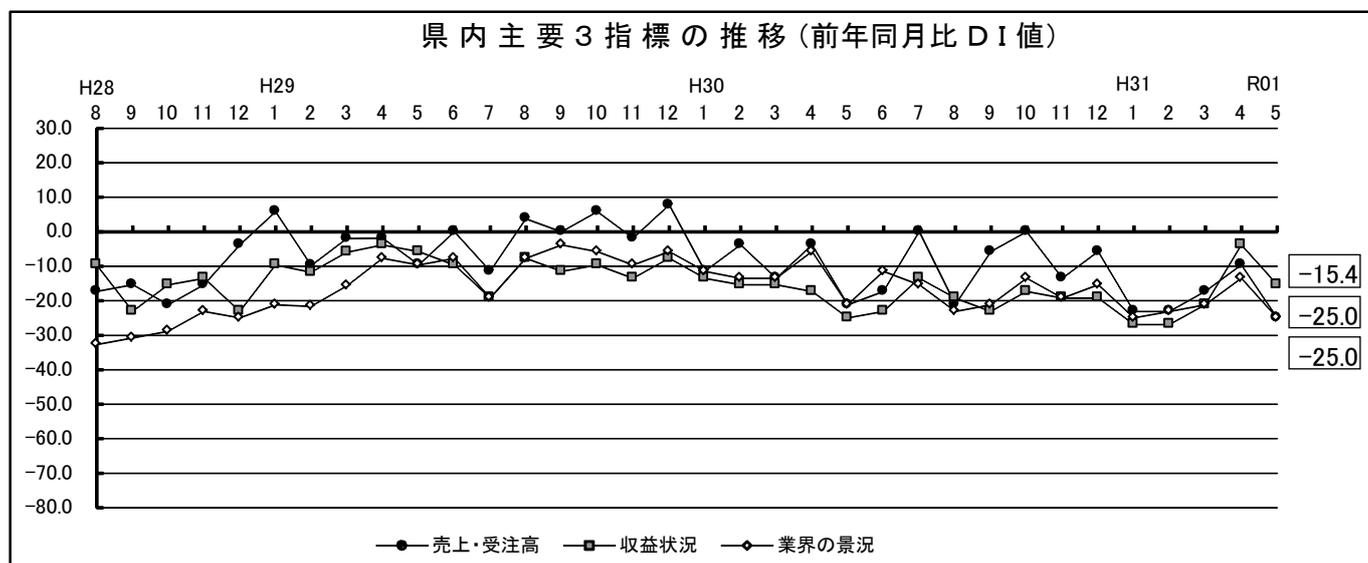
# 中小企業団体情報連絡員報告結果(令和元年5月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員52名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 5月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「販売価格」「取引条件」の2指標が上昇し、「売上高」「在庫数量」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「雇用人員」「業界の景況」の7指標が下降した。
- 主要3指標では、「売上高」「収益状況」「業界の景況」いずれも前月より下降し、それぞれ-25.0ポイント、-15.4ポイント、-25.0ポイントであった。
- 5月は令和を迎え景況感の回復を期待する声が多かったものの、前月DI値差表をみると9指標中7指標で悪化に転じるなど、依然として厳しい経営状況に変わりはない。例年になく大型連休の影響による売上・収益の減少や人件費・食材費等の高騰、慢性化する人手不足などが不安要素として多く聞かれ、中小企業の先行きは今後とも注視していく必要がある。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



| 主要3項目  | 県内    |       | 全国    |      |
|--------|-------|-------|-------|------|
|        | DI値   | 前月比   | DI値   | 前月比  |
| 売上・受注高 | -25.0 | -15.4 | -20.6 | -8.8 |
| 収益状況   | -15.4 | -11.6 | -22.9 | -4.0 |
| 業界の景況  | -25.0 | -11.5 | -26.1 | -4.1 |

## 売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より15.4ポイント下降し、-25.0ポイントとなった。全国においては、前月より8.8ポイント下降し-20.6ポイントとなった。

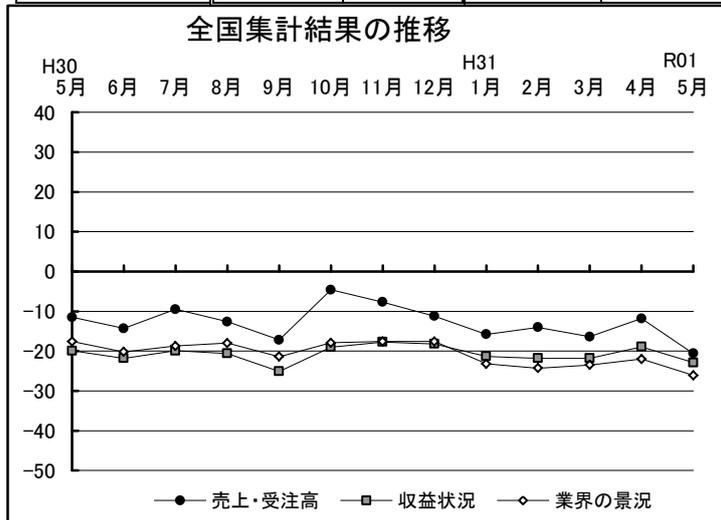
## 収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より11.6ポイント下降し、-15.4ポイントとなった。全国においては、前月より4.0ポイント下降し-22.9ポイントとなった。

## 業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より11.5ポイント下降し、-25.0ポイントとなった。全国においては、前月より4.1ポイント下降し-26.1ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

5月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「販売価格」「取引条件」の2指標が上昇し、「売上高」「在庫数量」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「雇用人員」「業界の景況」の7指標が下降した。

主要3指標では、「売上高」「収益状況」「業界の景況」いずれも前月より下降し、それぞれ-25.0ポイント、-15.4ポイント、-25.0ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中1業種が上昇、4業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇、2業種が下降した。「収益状況」は製造業で7業種中2業種が上昇、3業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇、2業種が下降した。「業界の景況」は製造業で7業種中2業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇、3業種が下降した。

5月は令和を迎え景況感の回復を期待する声が多かったものの、前月DI値差表をみると9指標中7指標で悪化に転じるなど、依然として厳しい経営状況に変わりはない。例年にない大型連休の影響による売上・収益の減少や人件費・食材費等の高騰、慢性化する人手不足などが不安要素として多く聞かれ、中小企業の先行きは今後とも注視していく必要がある。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

|        | 売上 | 在庫 | 価格 | 条件 | 収益 | 資金 | 設備 | 雇用 | 景況 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 食料品製造  | ×  | ×  | ○  | △  | △  | △  | △  | △  | ×  |
| 繊維・同製品 | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | ×  |
| 木材・木製品 | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  |
| 印刷     | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  |
| 窯業・土石  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  |
| 鉄鋼・金属  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | ×  | △  | ×  |
| 一般機器   | △  | ×  | △  | △  | △  | △  | △  | ○  | △  |
| 卸売業    | △  | △  | △  | △  | △  | △  | —  | △  | △  |
| 小売業    | ×  | ×  | △  | △  | △  | △  | —  | △  | ×  |
| サービス業  | ×  | —  | △  | △  | ×  | △  | —  | △  | △  |
| 建設業    | △  | —  | △  | △  | △  | △  | —  | △  | △  |
| 運輸業    | ×  | —  | △  | △  | △  | △  | —  | △  | △  |
| その他    | ×  | —  | △  | △  | △  | △  | —  | △  | △  |

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

|        | 売上    | 在庫    | 価格    | 条件    | 収益    | 資金    | 設備    | 雇用    | 景況    |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 食料品製造  | -75.0 | -50.0 | 50.0  | -25.0 | -25.0 | 0.0   | 0.0   | 0.0   | -75.0 |
| 繊維・同製品 | 0.0   | -25.0 | -25.0 | 25.0  | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | -50.0 |
| 木材・木製品 | 25.0  | -25.0 | 25.0  | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 25.0  | -25.0 | 0.0   |
| 印刷     | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 窯業・土石  | 0.0   | 0.0   | 25.0  | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 鉄鋼・金属  | 0.0   | -25.0 | -25.0 | 0.0   | -25.0 | 0.0   | -50.0 | 0.0   | -50.0 |
| 一般機器   | -25.0 | -50.0 | 0.0   | 0.0   | 0.0   | -25.0 | 0.0   | 50.0  | 25.0  |
| 製造業    | -12.0 | -28.0 | 8.0   | 0.0   | -8.0  | -4.0  | -4.0  | 4.0   | -24.0 |
| 卸売業    | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |       | 0.0   | 0.0   |
| 小売業    | -42.9 | -42.9 | 0.0   | -14.3 | -28.6 | -14.3 |       | 0.0   | -42.9 |
| サービス業  | -50.0 |       | 0.0   | -16.7 | -50.0 | -16.7 |       | -16.7 | -33.3 |
| 建設業    | -20.0 |       | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |       | 0.0   | -20.0 |
| 運輸業    | -50.0 |       | 0.0   | 0.0   | -25.0 | 0.0   |       | 0.0   | -25.0 |
| その他    | -50.0 |       | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |       | 0.0   | 0.0   |
| 非製造業   | -37.0 | -30.0 | 0.0   | -7.4  | -22.2 | -7.4  | -3.7  | -25.9 |       |
| 全体     | -25.0 | -28.6 | 3.8   | -3.8  | -15.4 | -5.8  | -4.0  | 0.0   | -25.0 |

図表3～【指標別DI値の推移】

|       | 30年<br>5月 | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 31年<br>1月 | 2月    | 3月    | 4月    | 元年<br>5月 | 前月<br>比 |
|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|----------|---------|
| 売上高   | -21.2     | -17.3 | 0.0   | -21.2 | -5.8  | 0.0   | -13.5 | -5.8  | -23.1     | -23.1 | -17.3 | -9.6  | -25.0    | -15.4   |
| 在庫数量  | -14.3     | -11.4 | -2.9  | -11.4 | -2.9  | -17.1 | -5.7  | -17.1 | -8.6      | -17.1 | -17.1 | -17.1 | -28.6    | -11.5   |
| 販売価格  | 9.6       | 11.5  | 11.5  | 7.7   | 3.8   | 3.8   | 9.6   | 7.7   | 0.0       | 1.9   | -1.9  | 1.9   | 3.8      | 1.9     |
| 取引条件  | -5.8      | -3.8  | -3.8  | -3.8  | -3.8  | -5.8  | -11.5 | -9.6  | -15.4     | -11.5 | -13.5 | -7.7  | -3.8     | 3.9     |
| 収益状況  | -25.0     | -23.1 | -13.5 | -19.2 | -23.1 | -17.3 | -19.2 | -19.2 | -26.9     | -26.9 | -21.2 | -3.8  | -15.4    | -11.6   |
| 資金繰り  | -15.4     | -9.6  | -5.8  | -11.5 | -11.5 | -9.6  | -9.6  | -15.4 | -15.4     | -9.6  | -11.5 | -3.8  | -5.8     | -2.0    |
| 設備操業度 | -12.0     | -12.0 | -4.0  | -12.0 | -12.0 | 0.0   | 4.0   | 4.0   | -16.0     | -8.0  | -8.0  | 0.0   | -4.0     | -4.0    |
| 雇用人員  | 0.0       | -1.9  | -5.8  | -7.7  | 1.9   | -3.8  | -1.9  | -5.8  | 0.0       | 0.0   | -3.8  | 3.8   | 0.0      | -3.8    |
| 業界の景況 | -21.2     | -11.5 | -15.4 | -23.1 | -21.2 | -13.5 | -19.2 | -15.4 | -25.0     | -23.1 | -21.2 | -13.5 | -25.0    | -11.5   |

図表4～【前月DI値差】

|        | 売上     | 在庫    | 価格   | 条件    | 収益    | 資金    | 設備    | 雇用    | 景況    |
|--------|--------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 食料品製造  | -25.0  | -50.0 | 0.0  | 0.0   | 25.0  | 25.0  | -25.0 | 0.0   | 0.0   |
| 繊維・同製品 | -25.0  | -25.0 | 0.0  | 25.0  | -25.0 | -25.0 | 0.0   | 0.0   | -75.0 |
| 木材・木製品 | -25.0  | 0.0   | 25.0 | 0.0   | -25.0 | 0.0   | 0.0   | -25.0 | -25.0 |
| 印刷     | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 窯業・土石  | 25.0   | 25.0  | 0.0  | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 50.0  | 0.0   | 0.0   |
| 鉄鋼・金属  | 0.0    | 25.0  | 0.0  | 25.0  | 25.0  | 0.0   | -25.0 | 0.0   | 0.0   |
| 一般機器   | -50.0  | -25.0 | 0.0  | 0.0   | -25.0 | 0.0   | -25.0 | 0.0   | 0.0   |
| 製造業    | -16.0  | -8.0  | 4.0  | 8.0   | -4.0  | 0.0   | -4.0  | -4.0  | -16.0 |
| 卸売業    | 0.0    | -33.3 | 0.0  | 0.0   | 0.0   | 0.0   |       | 0.0   | 0.0   |
| 小売業    | 28.5   | -14.3 | 0.0  | 14.3  | 28.5  | 14.3  |       | 0.0   | 28.5  |
| サービス業  | -33.3  |       | 0.0  | -16.7 | -83.3 | -33.4 |       | -16.7 | -16.6 |
| 建設業    | 0.0    |       | 0.0  | 0.0   | 0.0   | 0.0   |       | 0.0   | -20.0 |
| 運輸業    | -100.0 |       | 0.0  | 0.0   | -50.0 | 0.0   |       | 0.0   | -50.0 |
| その他    | 0.0    |       | 0.0  | 0.0   | 0.0   | 0.0   |       | 0.0   | 0.0   |
| 非製造業   | -14.8  | -20.0 | 0.0  | 0.0   | -18.5 | -3.7  |       | -3.7  | -7.4  |
| 全体     | -15.4  | -11.5 | 1.9  | 3.9   | -11.6 | -2.0  | -4.0  | -3.8  | -11.5 |

# 特記事項

情報連絡員報告（令和元年5月分）

| 所属組合             | 特記事項  |
|------------------|---|
| 和洋菓子製造業          | <p>昨年は、栃木県がデスティネーションキャンペーンを行っていたこともあり観光地を中心に来客が多く、今期も幾分その影響があったと思われる。</p>   |
| 縫製業              | <p>店頭での販売価格は長年上がらず、生産コストは人件費を筆頭に毎年上昇しているうえ、生産品は多品種少ロットになり、生産性でカバーする限界を超えており、益々厳しい状況である。</p>   |
| 網・網・レース・繊維粗製品製造業 | <p>春夏シーズンは部分的にはまずまずの反応だったが、全体的にはまだまだ物足りない結果でイマイチであった。7月から来シーズンの春夏企画が始まるので、そこに向けて各社とも新たな提案に注力している。</p>   |
| 建具製造業            | <p>令和となって世間のムードは良いが、受注量など実経済はあまり良くないとの話が多い。</p>   |
| 印刷業              | <p>ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。また、求人をかけても人が集まりにくく、今後は外国人を採用計画に入れるか検討中である。</p>   |
| 石灰製造業            | <p>鉄鋼関係は昨年並みか若干減少気味、建材関係は今まで遅れていた物件が動き出したため増加した。肥料関係は系統、肥料商が増加したが、量販店が減少しているため、昨年並みといったところである。トータルでは前年並みとなった。</p>                               |
| 陶磁器製造業           | <p>陶器市の来客数はいつもの年と変わらず、景況感是不変である。</p>  |
| 金属製品製造業          | <p>売上低下・人件費増加・人手不足により、自動車部品関連・機械設備関連・プレス金型関連いずれも低下した。</p>   |
| 一般機械器具製造業        | <p>売上高がやや減少し、それに伴い収益状況が悪化した。しかし、企業間格差があり、業界全体で一様に収益状況悪化というわけではない。今後の動向を注視しながら対応していく必要がある。なお、人手不足は継続中である。</p>                                    |
| 一般機械器具製造業        | <p>大型連休の影響により、操業度・売上ともに減少したが、収益状況の悪化とまではいえない程度である。</p>  |
| 一般機械器具製造業        | <p>大型連休があった割には受注額が大幅には減少しなかったが、継続的に上昇するような動きでもないため、6月の発注が予定をかなり下回る状況になりつつある。この状況がどの程度続くのか心配である。</p>   |
| 各種商品卸売業          | <p>前年同期比で業況好転とする企業が複数みられるが、逆に業況悪化とする企業もある。全体としては大きな業況変化はない。</p>   |
| 食肉小売業            | <p>豚のアフリカコレラの影響で、世界の牛豚鶏の仕入価格が値上がりしている。大型連休後、人の動きも悪く、景気が後退しているように感じる。</p>  |
| 各種商品小売業          | <p>5月はまずまずの売上を保つことができたが、まだまだ景況感を感じられない。大型商業施設の閉店で街中がどう変わるかが心配である。</p>   |
| 各種商品小売業          | <p>大型連休中の人の流れが予想しにくく、不安を抱えての令和の始まりであったが、連休中の1日あたりの集客は例年とほぼ同水準であり、結果として休日日数が例年より多い分、売上が上乘せされた。しかし、連休明けの落ち込みが激しく、月トータルでは前年と同じ客数・売上に落ち着いてしまった。</p> |

|              |   |
|--------------|---|
| 花・植木小売業      | 母の日需要に向け、入荷量は増加傾向になったものの、昨年と比べると1割程度少なかった。母の日商戦の本番では、婚礼需要にも牽引され、前年対比で15%程度の単価高となり、仕入れに苦慮した。花業界にとって前半の大イベントである母の日だが、晩産化や少子化などで対象となる母親の年齢も上がり、プレゼントも多種多様化している。現状と分析をしっかりと行い、お花を選んでいただくための提案をしていきたい。                       |
| 理容業          | 高齢・廃業による組合脱退者が依然として続いている状況である。全理連共済等に加入できるメリット等を説明し、組合脱退者増加に歯止めを効かせなければならない状況である。   |
| 自動車整備業       | 雇用人数の減少が続いているが、新たな採用は難しい状況である。  |
| 旅館・ホテル       | 宿泊の客数稼働率に関し、大型連休後半は引き続き高稼働で推移した。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなってきている。宴会に関して、ここ数年のトレンド通り多くの受注があり、歓送迎会需要から総会・懇親会需要への推移は例年通りであった。連休中はホテルでの会合需要はなく、飲食店と共に厳しい月であった。飲食店利用に関しては、大型連休中は客足が鈍り、連休明けも利用を控える感じを強く受けた。 |
| ビルメンテナンス業    | ほぼ前年並みに近い実績であったが、一時的な要因により住宅改修の受注が減ったため、減収減益となった。   |
| 給食センター       | 4月1日から産業弁当の値上げを実施したが、不採算部門の撤退等により昨年度より若干の売上高減少となった。配送の燃料費の高騰や最低賃金引上げなどで厳しい状況ではあるが、食材費の減少や新規の得意先の開拓・新商品の開発により、収益も良くなると思われる。  |
| 内装工事業        | 当組合の防災ラベル支給枚数からみると、カーテン用ラベルは38%減、敷物用ラベルは315%増、壁装用ラベルは2%増であった。   |
| 一般貨物自動車運送業   | 大型連休は収益減少を招く形となった。ドライバーの高齢化による事故の懸念の声も聞かれる。軽油も値上げとなり、厳しい月であった。  |
| 貨物軽自動車運送業    | 5月1日から始まった一部食品品の値上げ報道により4月末までの好調が終わり、大型連休中の引越しや飲料・食品の緊急配送は好調だったが、連休終了後は自動車や鉄鋼、食品、緊急配送が低調になってしまった。北関東の関係者と情報交換をしたが、全体的に物流が停滞している様子であった。  |
| 一般乗用旅客自動車運送業 | 昨年度のディステーションキャンペーンの好影響もあり、特に週末の餃子店には長蛇の列ができているが、その他の観光に反映されていない状況である。キャッシュレス対応についても待ったなしの状況であり、対応が必要である。  |
| 大谷石採石業       | 今年の大型連休は10連休と休みが多く、客先、会員とも仕事が止まり、数%~1割近く売上が減少したとのことである。   |